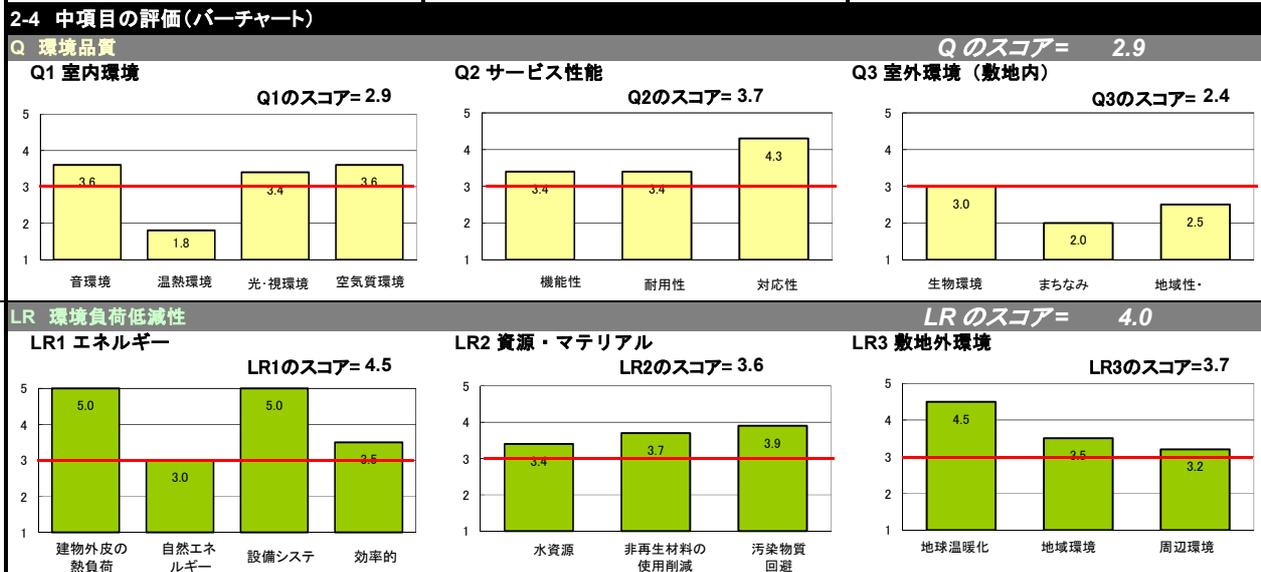


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	オリックス不動産(仮称)厚木Ⅲロジスティクスセンター新築工事	階数	地上6F
建設地	神奈川県愛甲郡愛川町中津桜台4025番1、他4筆	構造	RC造
用途地域	工業専用地域	平均居住人員	50人
地域区分	5地域	年間使用時間	2,500時間/年(想定値)
建物用途	事務所・工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年4月 予定	評価の実施日	2024年3月6日
敷地面積	66,835 m ²	作成者	鹿島建設株式会社横浜支店一級建築士事務所
建築面積	32,448 m ²	確認日	
延床面積	180,402 m ²	確認者	



3 設計上の配慮事項		
総合 敷地周辺に配慮し、敷地境界沿いは全面的に緑化を行っている。 節水器具を積極的に採用し、環境負荷の低減に配慮した建物である。		その他 -
Q1 室内環境 告示対象外又はF☆☆☆☆の建築材料を使用	Q2 サービス性能 ・光・金属の引込、精密機器の地下空間への設置回避、UHF・BS・CSを採用 ・OAフロア・ラックの採用により、構造部材と仕上げ材を傷めずに更新・修繕ができる。	Q3 室外環境(敷地内) ・空地部分を積極的に緑化し、生物環境の保全に配慮している。 ・燃焼設備を設置しないことで、温熱環境の向上に配慮している。
LR1 エネルギー ・LED照明等の高効率な設備機器を導入している。	LR2 資源・マテリアル ・節水器具の採用により、水資源保護に配慮している。	LR3 敷地外環境 ・燃焼機器の使用を避けて、大気汚染防止に配慮している。 ・屋外サイン照明を設置しない等、周辺への漏れ光に配慮した屋外照明計画としている。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される